

「祖父江ぎんなん」について

1 愛知県のぎんなん生産について

愛知県のぎんなんの出荷量は264.5 t、全国1位、産出額は2億円である（表1、2）。県内では、主に稲沢市（旧祖父江町）で多く生産されている。

表1 都道府県別ぎんなんの出荷量（2016年産）

順位	都道府県	出荷量（t）	全国シェア（%）
1	愛知	264.5	33
2	大分	129.4	16
3	福岡	67.0	8
全国計		795.8	100

（出典：2016年産特産果樹生産動態等調査）

表2 本県産ぎんなんの生産状況（2016年産）

栽培面積	61.2ha
出荷量	264.5 t
農業産出額※	2億円

（※農業産出額は、2017年都道府県別品目別農業産出額）

2 「祖父江ぎんなん」について

（1）由来

稲沢市の旧祖父江町内では、古くから防風・防火のために屋敷周辺にイチヨウが植えられてきた。約150年前に大粒の実がなる品種が旧祖父江町内で発見された後、品種の選抜や接ぎ木が行われ、経済栽培が始まった。

（2）出荷体制

出荷3組織は、以前は異なる規格で個別に出荷していたが、出荷規格の統一を行い、2016年から共選出荷を開始した。また、安全・安心で高品質な農産物の提供に取り組んでいる（表3）。

表3 祖父江ぎんなんの出荷体制について

出荷組織	3出荷組織、生産者数147名 ・山崎園芸出荷組合 ・祖父江町そ菜園芸組合ぎんなん研究会 ・祖父江ぎんなん出荷研究会
出荷時期	8月中旬～12月
主要品種	「 <small>きゅうじゆ</small> 久寿（ <small>きゅうじ</small> 久治）」、「 <small>とうくろう</small> 藤九郎」、 「 <small>きんべえ</small> 金兵衛」、「 <small>えいしん</small> 栄神」

（3）地域団体商標「祖父江ぎんなん」

地域ブランドを強化・保護するために、愛知西農業協同組合が「祖父江ぎんなん」を地域団体商標に出願し、2009年4月に登録された。

（4）祖父江ぎんなんブランド推進協議会

「祖父江ぎんなん」のブランド強化を図り、生産者やJA、関係機関が情報交換や交流等を行うために、2009年6月に「祖父江ぎんなんブランド推進協議会」が設立された。

《祖父江ぎんなんブランド推進協議会》

○会長 うしだ ゆきお牛田 幸夫（愛知西農業協同組合代表理事組合長）

○構成員 3出荷組織、愛知西農業協同組合、稲沢市、祖父江町商工会、県尾張農林水産事務所農業改良普及課、愛知県経済農業協同組合連合会

○事務局 愛知西農業協同組合

○活動 ①メディア対応やホームページ等での情報発信、②イベントへの出展等の販売促進、③栽培研修会や栽培試験等による品質向上に取り組んでいる。